

研 修 区 分 表

平成 年 月 日作成

科目・教科	研修時間				到達目標・講義の内容・演習の実施方法 実習実施内容・通信学習課題の概要等
	通学	通信	実習	計	
2 介護における尊厳の保持 自立支援 (9時間)	9			9	<p>(到達目標) 介護に携わる専門職として、「基本的人権」や「個人の尊厳」について、日常の一つ一つの動作や会話のなかに生きてくる基本姿勢として基本的視点およびやってはいけない行動例を理解している。</p> <p>(評価ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護の目標や展開について、尊厳の保持、QOL、ノーマライゼーション、自立支援の考え方を取り入れて概説できる。 ・ 虐待の定義、身体拘束およびサービス利用者の尊厳、プライバシーを傷つける介護についての】基本的なポイントを列挙できる。 <p>(指導の視点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者や家族の要望にそのまま応えることと、自立支援、介護予防の考え方に基づくケア等との違いを、具体的な事例を複数示して、自立の概念に対する気づきを促す。 ・ 利用者の保有能力の活用、自立支援や重度化の防止、遅延化に資するケアへの理解を促す。 ・ 利用者の尊厳を傷つける言動やその理由について考え、尊厳という概念に対する気づきを促す。 ・ 虐待を受けている高齢者への対応方法についての指導を行い、高齢者虐待に対する理解を促す。
(1) 人権と尊厳を支える介護	4			4	<p>(内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> 個人としての尊厳 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人間としての尊厳 ・ 日本における基本的人権 ・ 基本的人権と介護・医療 権利擁護 <ul style="list-style-type: none"> ・ 権利擁護とアドボカシー ・ エンパワメント ・ エンパワメントやアドボカシーが必要な人 個人の尊厳と価値 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人間理解と尊厳の保持 ・ 介護における価値 社会的役割の実感 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己決定と尊厳 ・ 社会的役割の実感 介護分野における ICF (国際生活機能分類) <ul style="list-style-type: none"> ・ アセスメントと ICF ・ アセスメントの視点—食事介護の場合 ・ ICF と家事支援の観察ポイント QOL (Quality of life 生活の質) <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活の質の捉え方 ・ 内的 QOL と外的 QOL 生活の質と人間の尊厳 <ul style="list-style-type: none"> ・ 尊厳ある暮らし ・ マズローの欲求段階説と自己実現 ノーマライゼーションの理念と実際

				<ul style="list-style-type: none"> ・ ノーマライゼーションとは ・ ノーマライゼーションの原理 ・ ノーマライゼーションの実現
(2) 人権に関する基礎知識	2	2	<ol style="list-style-type: none"> 9. ノーマライゼーションの歴史 <ul style="list-style-type: none"> ・ 北欧でのルーツ ・ アメリカから世界に普及 ・ 日本の福祉への理念の普及 10. 高齢者虐待防止法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 成立までの経緯 ・ 高齢者虐待防止法の概要 11. 身体拘束禁止 <ul style="list-style-type: none"> ・ 身体拘束 ・ 緊急やむを得ない場合の対応 12. 個人情報保護法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報保護法の概要 ・ 「個人情報」における本人の同意 	
(3) 自立に向けた介護	3	3	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人権に関する基本的な知識 2. 同和問題等 <ol style="list-style-type: none"> 1. 専門職として求められる「自立」と「自律」 2. 自立支援のための介護方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の持つ力を最大限に活かしたケア ・ できる行為を増やす介護（意欲を高める支援） ・ 重度化防止 3. 介護予防と健康寿命 <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護予防のイメージ ・ 健康寿命 4. 介護保険と介護予防 <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険制度との関係 ・ 基本チェックリスト 5. 介護予防と社会的入院 	

--	--	--	--	--	--

※記載内容は、要綱の別紙2の内容を網羅したものとする。

※講義と演習は一体的に実施すること。なお、科目9の(6)から(11)および(15)の実技演習は、実技内容等を記載すること。

※時間配分の下限は30分単位とする。